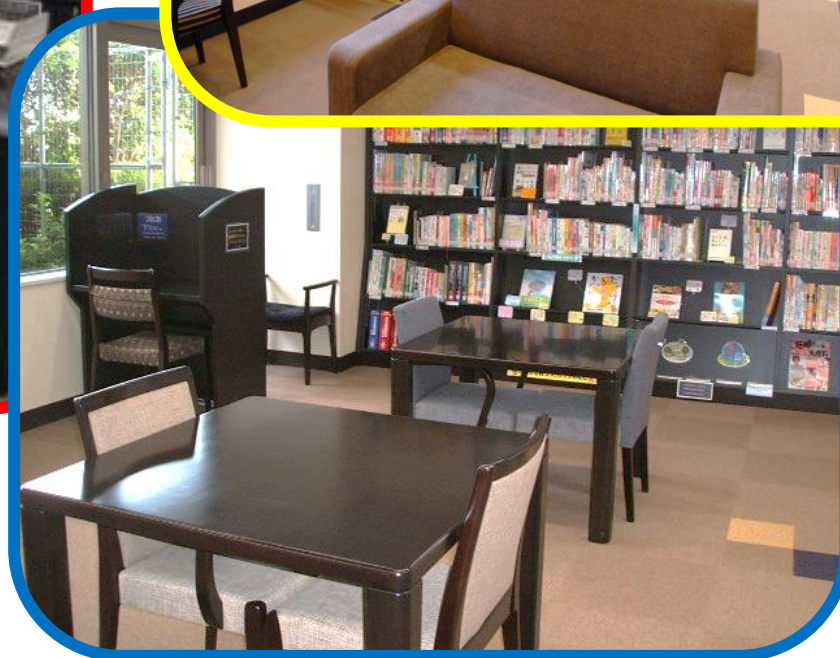




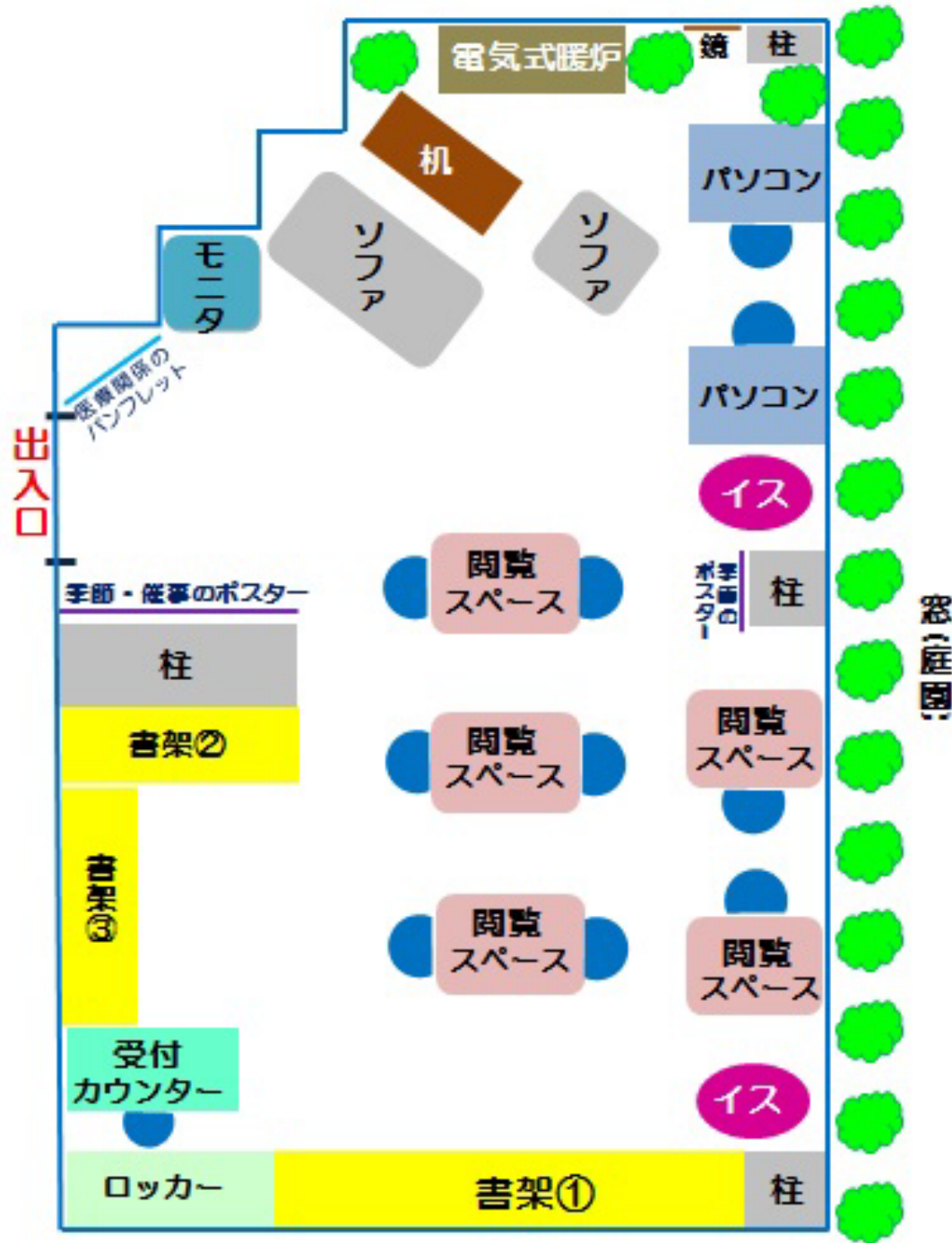
患者図書室で受ける相談

大阪市立総合医療センター
患者図書室やわらぎ空間 さくら

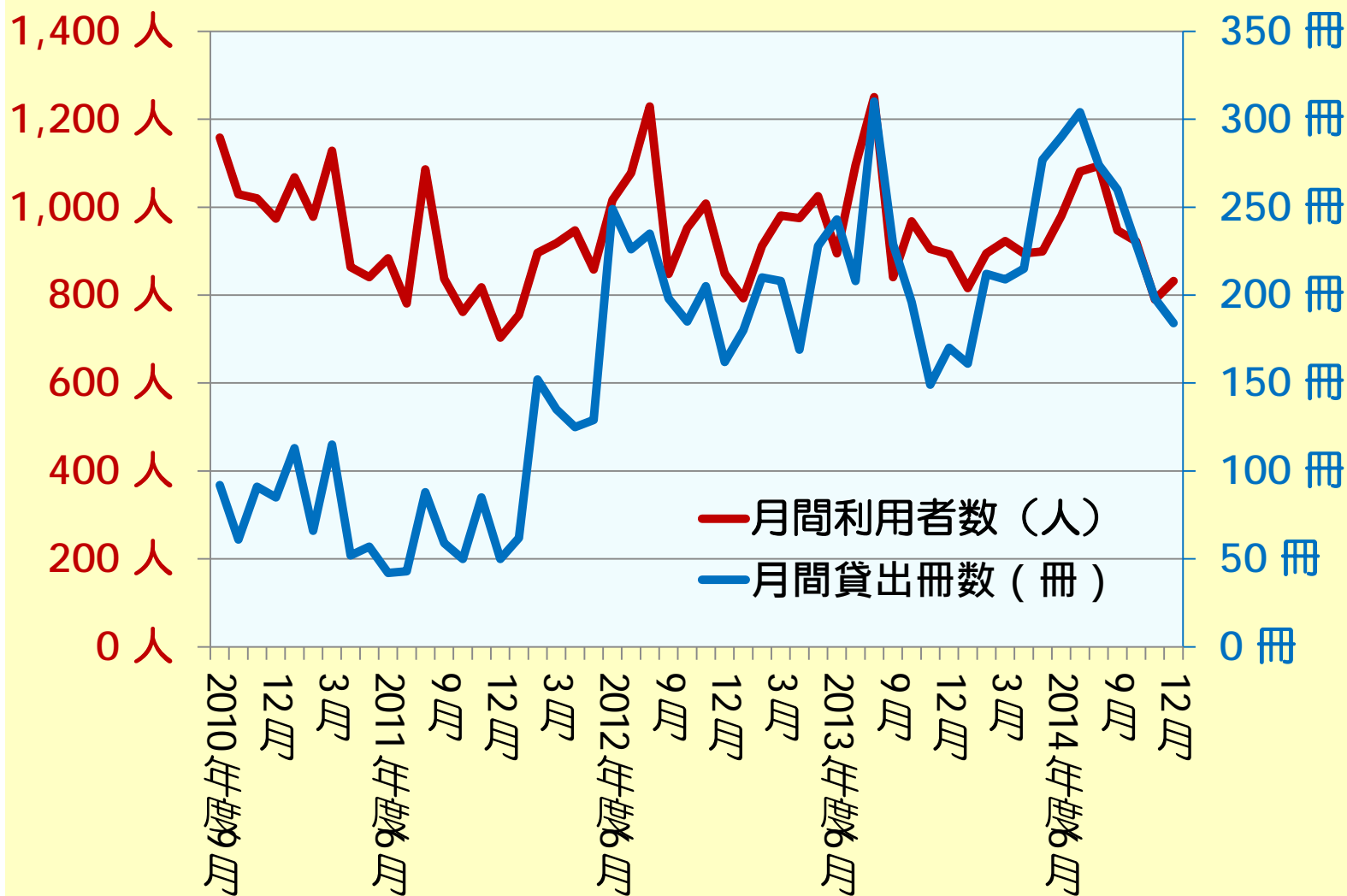
患者図書室やわらぎ空間 さくら



患者図書室見取り図



2010~2014年度 利用者数／貸出冊数



患者図書室 やわらぎ空間 さくら

— みんなの医療情報AからZまで —



患者図書室 やわらぎ空間 さくら

— みんなの医療情報AからZまで —



図書室は『やすらぎ空間』

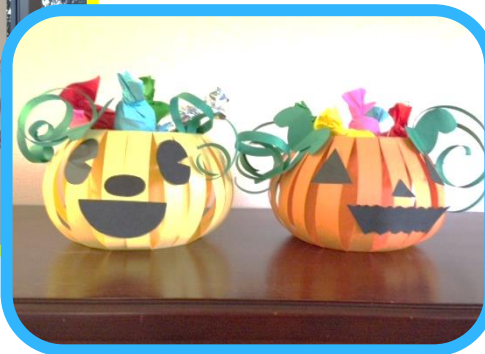
患者図書室 やわらぎ空間 さくら

— みんなの医療情報AからZまで —



患者図書室 やわらぎ空間 さくら

— みんなの医療情報AからZまで —



聖書の世界へ・・・

タイムマシンに乗って、イエスさまがお生まれになった頃のベツレヘムへ・・・インタビューで聖書の世界へ入る、かわいいクリスマス絵本。



貸出をふやすための試み

サンタクロースはいる？

クリスマスには不思議なことがたくさん起こります・・・「サンタクロースは誰？」ではなく、「サンタクロースはいる」のです！



クリスマスの日・・・

もうすぐクリスマス。ライオンは靴下を持っていないので、どうぶつむらのみんなから、片方ずつもらいましょう。



『しおり』も作ってみました

患者図書室からの情報発信

大阪市立総合医療センター 患者図書室 発行

やわらぎ通信 第2号 平成24年11月

がんに関する図書がふえました。



当センターは平成17年1月に「がん診療連携拠点病院」に指定され、平成22年3月に更新されました。総合医療センターに「がん相談支援センター」を併設し、看護師、ソーシャルワーカー等により、患者さんやご家族あるいはご近所の方からのがんに関する相談や医療相談、がん診療に係わる医療情報や医療世界に関する情報の収集・提供を行っております。この度、患者さんに「がん」に関する情報をもっと知ってもらいたいという事で、専門・認定看護師の推薦のもと、「がんに関する図書」を約70冊購入いたしました。

最新治療・緩和ケア・がん患者さんの体験談や、実践に基づいた治療に関する図書、在宅ケア・心のケアに関する図書、「がん」の種類別疾患に関するレシピ本、国立がん研究センター監修の「胃がん」「大腸がん」「肺がん」に関する専門書、今まで患者図書室になかった「小児がん」に関する図書、「がん」を題材としたベストセラー小説など、多彩で興味深い内容のものがたくさんあります。

また、抗がん剤治療や、乳がんの早期発見、術後の管理などに関するパンフレットも準備しています。先生から病気のことや疑問したとき、治療(手術・化学療法)や内服薬・食事・退院後の生活などもっと知りたい、聞いてほしいと思ったとき、また、治療について実際に考えざるをえない状況のときなど、ぜひ患者図書室にお越しください。実際に図書を手にとってみてください。

総合医療センターのわからない事! vol. 1.

このコーナーでは、大阪市立総合医療センターの事を、わかりやすくご紹介したいと思っております。今月は『病棟』について、各病棟には原則としてティールーム・食堂を設けています。早期退院の促進を図る一方、節電に十分注意し、より良い医療環境を目指しています。

ティールームでは、ボランティアさんたちによる「オカリナ演奏」「ハンドベル合奏」などの催しが、定期的に開かれています。主に入院患者さんやそのご家族対象とさせていただきますが、毎週とても好評で、特に小児科の患者さんには喜んでいただいております。

『チャーリー・ブラウン なぜなんだい?』
-とらぬちがぬいぬいになつたとキー
-チャーリー・M-カブツ/さく
白血病のような重い病気でお辛い思いをしていることへの気持ちをわかってあげる大切さを、こどもたちに説明しています。
小学生から大人まで。

『がんと一緒に働こう!』
CRSプロジェクト/編集
この本の制作に関わった人は研究者を除きすべて「がん経験者」です。がんになっても「仕事」にこだわりたい人たちが、その思いを1冊にまとめました。
みんな感動する感動のひとりでがんと一緒に働いています。

『がんこころのケア』
明切 龍男/著作
がん患者のこころのケアを行う事で住む喜びを増やすサイコオンコロジーについての入門書。心構え/具体的な治療法などについて、平易に説明。がんを患っても自分らしく、生きるために!!

『がんを生きる』
佐々木希実/著作
がん医療を自己決定しないといけない時代。手の打ちようがなくなった後、進行がん患者は残りの時間をどう送ったらいいのか? 台知マニユアルの著と共著。『死の受容』の田岡など、ベテラン化学療法士が実践に聞かれます。

掲示板

「うり」の一言
こんにちは、『のり』です。第2号を発行することができました。目標としては、10月中旬に発行する予定でしたが・・・とここでこの10月11日、総合医療センターのホームページが新しくなりました。図書も明るく見やすくなり、患者やご家族も増えました。各セッションの紹介もかなり充実してまいりました。是非、一度、覗いてみてください!
<http://www.brown.ob.osaka-nipio.ac.jp/>

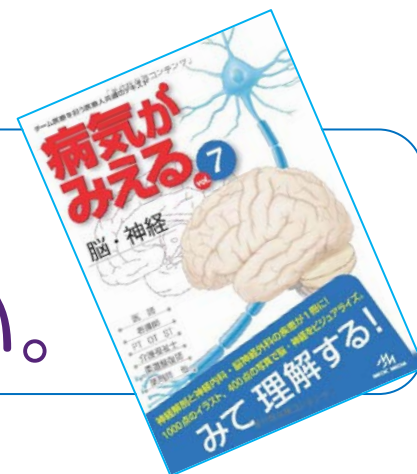
ご意見・ご感想
お待ちしております
図書室、新聞、当センターに関する事、どんな事でも結構です!
患者図書室 やわらぎ図書室 さく
大阪市立総合医療センター5階
〒534-0021
大阪市東区東本町2-13-22
06-6929-1221 (内線 5951)
<http://www.brown.ob.osaka-nipio.ac.jp/units/subsite/subsite.html>
(詳しくはこちら)

ご相談に来られるまで（ご家族）

◆ ドクターの説明は、
専門用語が多くわかりづらい！



◆ 話が一方的で、
聞き直すことができない。



◆ 本を読んで、本人に代わって病
気を少しでも理解したい！

ご相談に来られるまで（ご本人）

◆ 手術も無事終了し、病室から出られるようになった。



◆ 退院後の日常生活（特に食事）が心配。



◆ 本を読んで、今後の生活に役立
てたい！

ご相談に来られるまで（外来患者さん）

◆ どこか「からだ」の調子がいつもと違っている。



◆ 血液検査を受けたが、その結果がわかりづらい。



◆ 患者図書室で検査の結果を確認しよう！

病気の事を知ったかぶりしない！



相談したい⇨聞いてくれるだけで良い



不安

- 病気の事
- 病院生活の事
- 退院後の事
など



誰でもいいから、話を聞いてほしい



気分的に楽
になれそう

患者図書室で受ける相談

ご清聴、
ありがとうございました。

